

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法管理学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博	D317	t-mishina	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	理学療法部門の管理・運営に関する基本的知識を学修する。理学療法部門の報酬体系の仕組み、法的根拠を理解する。物品管理,人材育成,キャリアパス,理学療法業務上におけるリスクを学修し、将来の理学療法士像の確立を目指す。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	スライド資料を提示しながら講義を進める。必要に応じて適宜課題を提示したうえで、学生に意見・感想を述べてもらう。				
教科書	特になし。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	理学療法部門の管理・運営に関する基本的知識を学習し、説明できる。			RH①~⑥	
②	理学療法部門の報酬体系を学習し、仕組みを説明できる。			RH①~⑥	
③	理学療法部門のリスク管理を学習し、説明できる。			RH①~⑥	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	実務経験を基に理学療法士法の具体的内容を提示し、理学療法士の法的身分保障について学修する。	対面授業	理学療法士法の重要な条文を復習する。	4	
2	日本理学療法士協会について事業内容を学修し、専門理学療法士など生涯学習システムを理解する。	対面授業	協会の生涯学習システムを復習する。	4	
3	診療報酬制度のしくみについて学修し、担当教員が実務経験の中で培った現行制度の問題点をディスカッションする。	対面授業	診療報酬に記載された施設基準の意味を復習する。	4	
4	診療報酬と理学療法士の賃金の関連を学修し、将来的な需給予測をディスカッションする。	対面授業	需給関係の根本原因を復習する。	4	
5	理学療法業務に関わる一般的な部門構成を学修すると共に、労務管理の基本的な方法をディスカッションする。	対面授業	労務管理の基本原則を復習する。	4	
6	リスクマネジメントを理解し、安全管理の方法をディスカッションする。	対面授業	理学療法部門のリスクマネジメントについて復習する。	4	
7	インシデントとアクシデント、感染症対策を学習し安全管理の在り方をディスカッションする。	対面授業	ハインリッヒの法則などを復習する。	4	
8	理学療法業務におけるデータ管理を学修し、情報漏洩等の防止策をディスカッションする。	対面授業	個人情報保護法を復習する。	4	
9	診療録 (SOAP) を学修し、情報管理の在り方をディスカッションする。	対面授業	SOAP の表現方法を復習する。	4	
10	良質な医療を提供する上で欠かせない接遇等医療面接の基本手技を学修する。	対面授業	医療面接の手法を復習する。	4	
11	障害受容の過程を学修し、望ましい对患者関係の在り方をディスカッションする。	対面授業	障害の受容過程を復習する。	4	
12	他部門との連携方法を学修し、チーム医療の在り方をディスカッションする。	対面授業	他部門との連携方法を復習する。	4	
13	クリニカルパスを学習し他部門との連携をディスカッションする。	対面授業	クリニカルパスを復習する。	4	
14	各種ハラスメントを学修し、ハラスメントの無い職場環境の構築方法をディスカッションする。	対面授業	各種ハラスメントの内容を復習する。	4	
15	これまでの学習の総括	対面授業	理学療法士法の重要な条文を復習する。	4	
試	成績評価 到達度評価・評価のポイント参照	/			

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①	✓	筆記試験を行う。出題形式は五者択一（及び二）の国家試験形式にて客観的試験を行う				設問の意図と模範解答を希望する学生には開示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	医療機関及び介護保険関連施設にて 8 年間の実務経験						
実践的授業の内容	理学療法業務を行う問題点を臨床経験に基づく視点から解説し、具体的な対応策を考察し検討する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の理解度に応じて授業計画を変更することがある。 ・学修内容は就職後の職場関係に関することが多いが、長期実習を控えているので実際の現場をイメージしながら真摯に受講してもらいたい。 						